

第4回水環境マネジメント検討会 資料3

流総計画の見える化

1. 流総計画とは

(1) 流域別下水道整備総合計画の位置付け

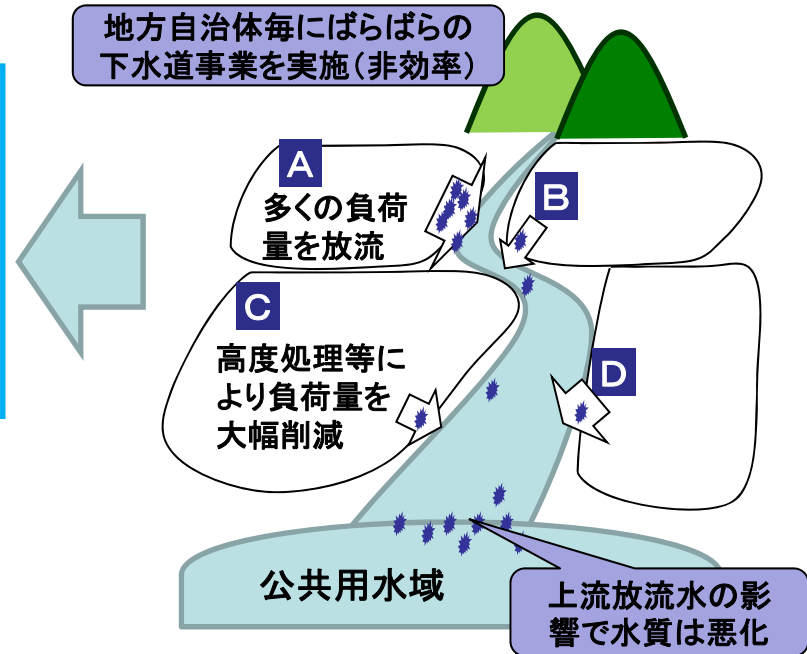
- ☆個々での対策では水質を改善することが困難かつ非効率
- ☆下水道の整備を含めた流域全体での汚濁負荷削減方策について検討する必要がある
- ☆流域全域にわたる最も合理的、効果的な下水道整備計画が必要

流域別下水道整備総合計画

水質環境基準が定められた河川、海域の水質の汚濁が2以上の市町村における汚水によるものである場合、**水質環境基準等を達成維持するために**公共用水域の下水道の整備に関する総合的な基本計画(流総計画)を定めなければならない。

※環境基準の達成を目的に策定される法定計画(下水道法)
 ※下水道整備のマ스터プラン
 ⇒下水道事業は**流総計画に適合**していなければならない

流総計画がない場合の課題



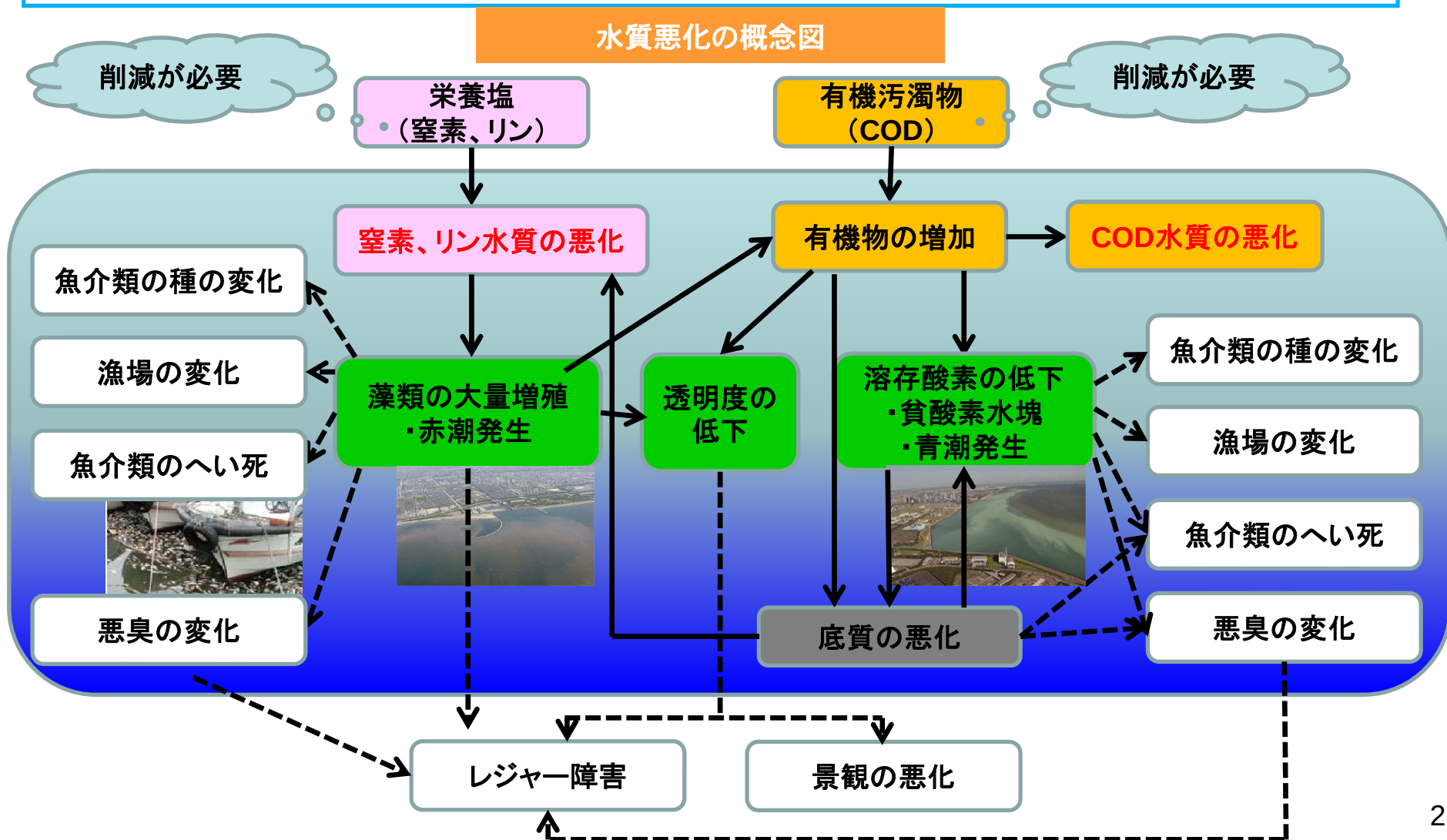
○○流総計画の対象水域

- ☆河川: ○○川水系、△△川水系 等
- ☆海域: ●●湾
- ☆関連市町村: ◇◇市町村

1. 流総計画とは

(2) 水質汚濁のしくみ

有機汚濁物や栄養塩の流入によって水質が悪化し、赤潮・青潮の発生や、魚介類のへい死、レジャー障害、景観の悪化につながる。⇒水質を改善するには、流入負荷量を削減する必要がある。



1. 流総計画とは

(3) 負荷量の削減方法

流総計画に基づき、各発生源からの負荷量を削減し、公共用水域の水質を改善させる。

⇒このうち、主に家庭から排出される負荷量を削減するのが下水道の役割

現状



多様な発生源からの負荷量
により、水質が改善されない

流総計画策定後



負荷削減等により水質改善

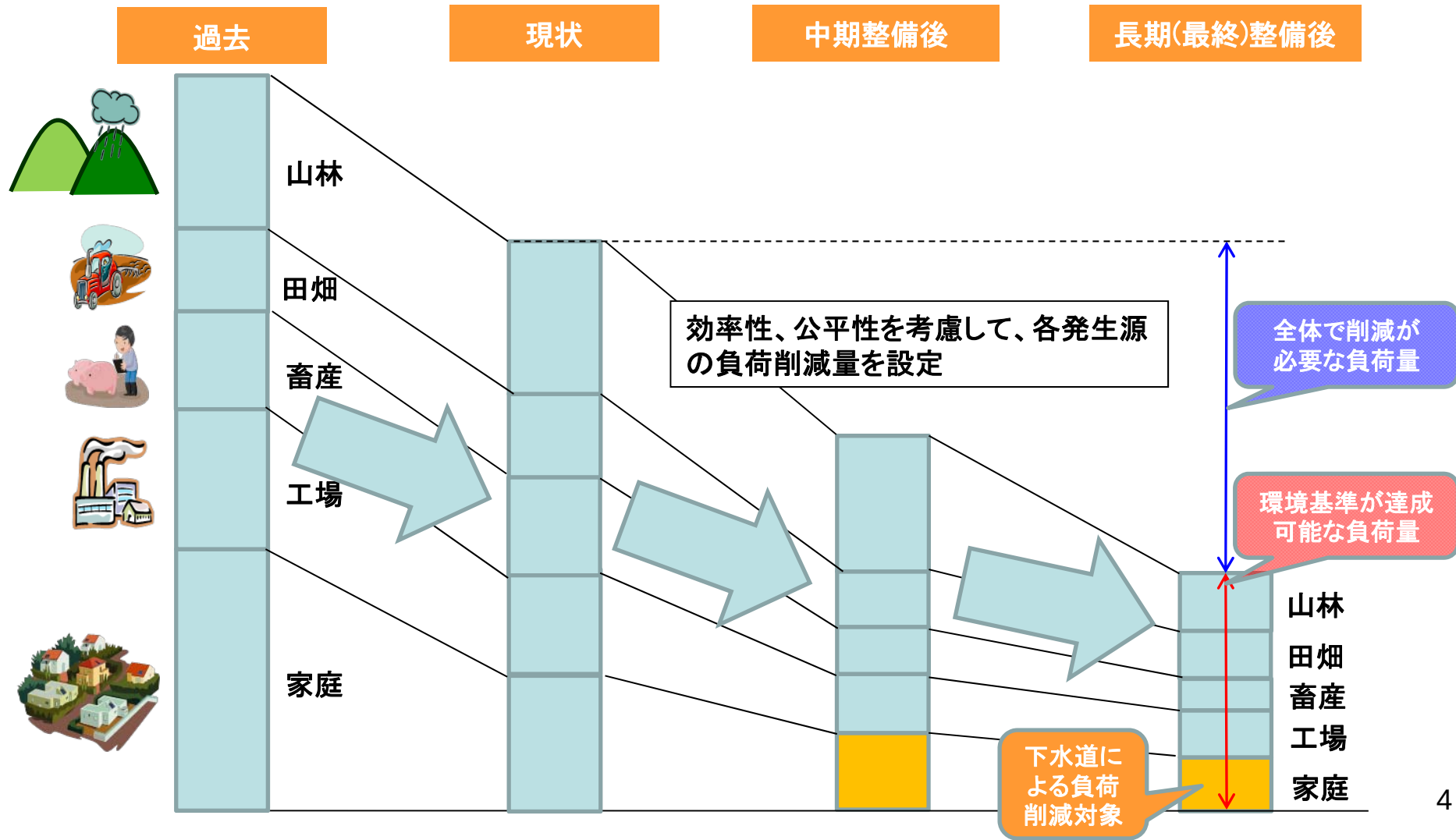
$$\text{水質 (mg/L)} \times \text{水量 (L)} = \text{負荷量 (mg)}$$



1. 流総計画とは

(4) 負荷量の削減計画

流総計画では負荷量を削減するために、中期と長期(最終)段階における負荷量の削減計画を立案する。



2. 流総計画で定める事項

【下水道の整備に関する基本方針】

- ☆長期整備計画年次:平成L年
- ☆中期整備計画年次:平成M年
- ☆目標像(例)
 - ・環境基準の達成
 - ・親水エリアにおける衛生面の改善
 - ・藻場・干潟を活用した豊かな海の実現
- ☆(流域全体でのエネルギー最小化)

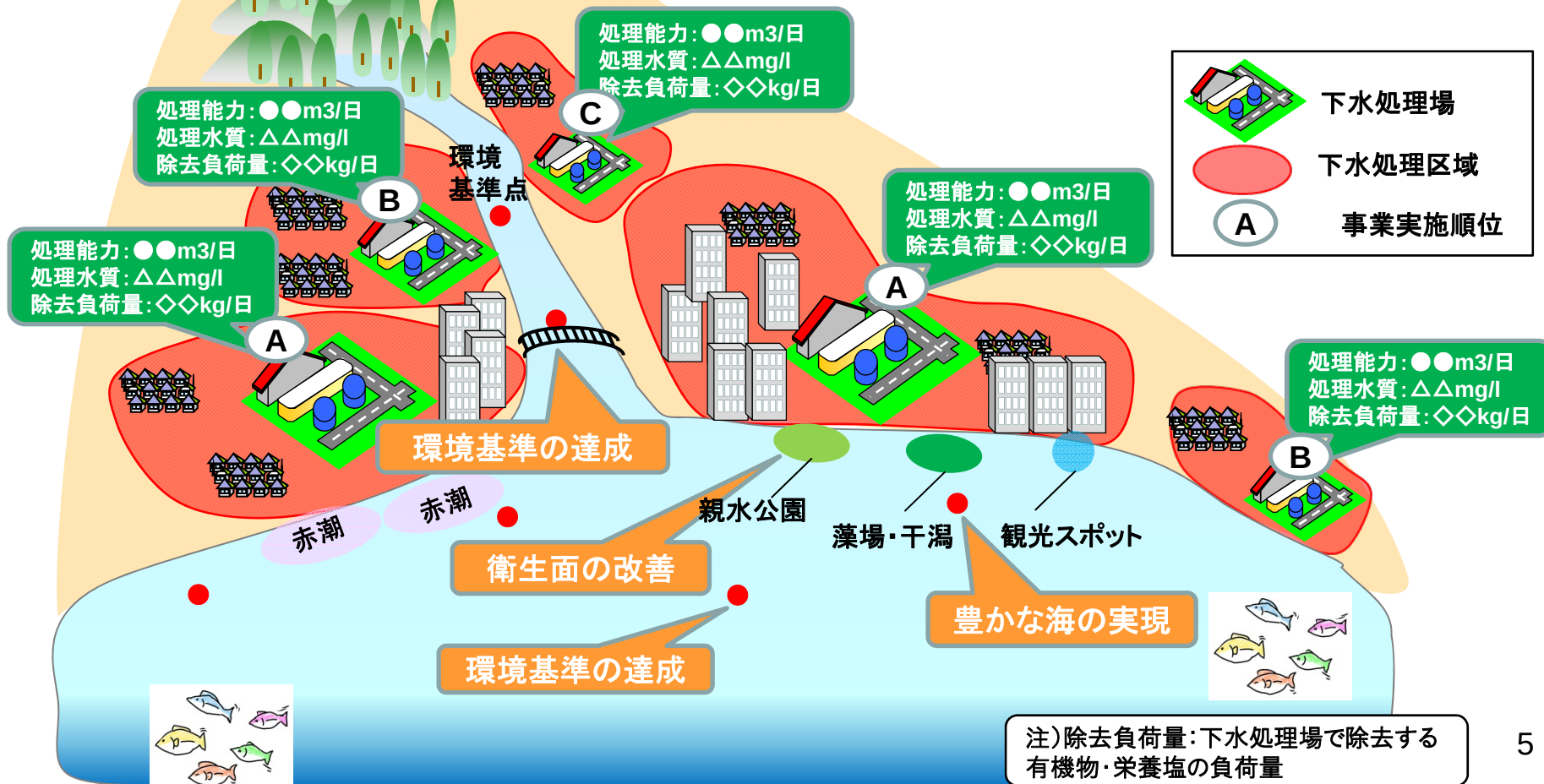
【下水道の処理区域】

【下水道の根幹的施設の配置、構造及び能力】

【下水道の整備事業の実施順位】

※下図参照

【下水処理場の窒素・リンの削減目標量】



3. 流総計画を策定する効果

(2) 今後考えられる効果

環境基準達成、水環境改善の意義について、環境部局等と十分な調整の上、公表する。



3. 流総計画を策定する効果

過去のデータの蓄積により、水環境がどう変化してきたかを確認し、現在の課題を抽出する必要がある。

